

乾田で稲を栽培

点滴灌漑やスマート農業技術を活用

サンホープで、乾田に
おける稲（ひとめぼれ）
のドリップファティーゲ

(株)サンホ

ープ 東京

都目黒区中

目黒1-1

171-203

(3710)

5675

益満ひろみ

社長は、

宮城県大崎

市古川でカ

メイ商事(株)

(仙台市)

の協力の下

ーシヨンの実証試験を開
始した。

乾田で陸稲栽培を行い

ながらドリップチューブ

で点滴灌漑。土壌水分セ

ンサーや気象センサな

どと組み合わせる養水分

管理などスマート農業技

術を活用することで水や

肥料を削減。また土壌へ

の炭素貯留を促進するこ

とで、水田から出るメタ

ンなど温室効果ガスの発

生の抑制を目指す。

実験内容としては、

170平方メートルの乾田と隣

の水田区を比較し、①同

等の収量・品質が確保で
きるのか②農作業にかけ
る労力削減ができるのか
③水・肥料は削減できる
のかなどを実証する。



設置したのは軟質ドリ
ップチューブや液肥混入
器ドサトロン、継手サー
ブシリーズ。そしてサイ
クロン式サンドフィルタ
ーとサンフラ
ットホース。
スマート農
業関連機器と
しては、灌水
プログラムの
実行と電磁弁
の制御を行う
日本初のソー
ラーパネル型
かん水制御装
置スマート君

乾田と水田を比較し品質収量や労力
軽減、水・肥料の節減、メタンガス
抑制を実証

をはじめ、気象状況を観
測してデータ収集する簡
易気象観測ステーション、
スマート君を制御す
る通信機器のゲートウェ
イで構成。

設置は4月18日に行わ
れた。まず乾田の脇に各
種機器を設置。ポンプや
ドサトロン、フィルター
などのかん水・施肥設備
を設置し約1時間で完了。
そして、スマート農業
関連機器の設置は約1・
5時間、ドリップチュー
ブなどの敷設に約1・5
時間で設置が完了した。